

コミュニケーション

# コミュニケーション実習

仲間づくりをすすめよう！



国立淡路青少年交流の家

# コミュニケーション実習

仲間づくりをすすめよう！

## ■ 概要

室内で行う実習です。カードや簡単な道具を使って、グループごとに課題解決を目指していく実習です。

## ■ ねらい

- 与えられた課題にグループで協力して取り組む。
  - グループの中で積極的に発言する。
  - グループ内で他者の発言をしっかりと聞く。
  - 発言や話を聞く姿勢と量的なバランスをみる。
  - コミュニケーションのあり方について考えさせる。
- 参加者
- 指導者

## ■ 準備物

	準備物	必要数
1	●筆記用具	各自
2	○クリップボード	各自
3	○水性マーカー	グループ
4	○模造紙	グループ
5	☆ホワイトボード	1
6	☆ボードマーカー	1セット

※内容によっては、他に必要となるものがありますので、職員にご相談ください。

- 必要なもの
- あると良いもの
- ☆ 交流の家にあるもの

## ■ 指導者、人数、費用など

対象	小学校5年生以上	
指導形態	交流の家職員 ※導入～活動中～ふりかえり	無料
費用	団体指導者による指導 ※指導マニュアルがあります	
人数	6～100人	
1グループ人数	6～10人	
実施時間	2.5時間	
場所	導 入 活 動 中 ふりかえり	研修室(室内)
時期	1年中	

## ■ 服装

特に指定はありません

## ■ 事前

- ・指導者は、原則事前下見の時、もしくは入所後の活動実施前の時間に、職員に30分ほどの事前指導(打ち合わせ)を受ける。
- ・団体内でグループ分け・実施種目・指導体制を決めておく。

## ■ 展開

	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	
			団体指導者による指導	交流の家職員
導入 (30分)	諸注意	・諸注意を聞く	・諸注意を行う	・諸注意を行う
	ねらいと進め方の説明	・ねらいと進め方を理解する	・ねらいと進め方を説明する	・ねらいと進め方を説明する
活動中 (90分)※3種目時	グループ活動 ※1種目30分とし3種目行った場合は90分必要	・グループごとに課題を知る。 ・各グループに分かれて活動を行う	・各グループに付き添いグループ観察をする	・各グループに付き添いグループ観察をする ※団体指導者もグループ観察を行っていただきます
まとめ (30分)	ふりかえり	・ふりかえりシートを記入する ・グループ内でお互いの意見を発表する	・研修生の発表を聞く	・研修生の発表を聞く

※団体指導者のみで指導する場合は、別紙マニュアルに従って指導してください。

## ■ 留意点

### 安全上の留意点

- ・活動場所に応じた安全上の注意を行う。

### 指導上の留意点

- ・この活動は、グループ内で個人の意見を主張すること、相手の意見に耳を傾けることが必要となる活動です。その中で、「グループでの意思決定時の方法を学ぶ」「意見の違いをどのように調整して、みんなが満足できるような決定づくりができるかを体験する」「仲間づくりをすすめる」ことを目指しています。また、これらはふりかえりの重要なポイントとなります。指導にあたる方々はそのことを十分に踏まえ、活動中にグループをうまく機能させるための助言や安全面以外での過度なグループへのかかわり、指示や介入といったものは避けたほうがより効果的です。

## ■ 雨天時の対応

- ・雨天でも実施可能です。

# 活動内容

## ①図形伝達実習

1枚のカードに描かれた図形を、指導者が口頭でのみ伝え、白紙に一人ひとりが絵を描いていく活動です。更に、この活動を発展させ伝達者と質疑応答を行いながら図形を描いていきます。

この二種類のコミュニケーションによって生み出される「違い」について考えます。

## ②カード実習

グループに分かれ、個々に手渡されたカードにある異なる情報を、グループ内で口頭でのみ伝え合います。その中には課題も含まれており、全員の情報がまとまらなくては解決できないようになっています。課題解決に向けて、グループでしっかりとしたコミュニケーションが必要となる活動です。

## ③コンセンサス実習

ある設定された困難な場面から脱出するため、個人でその方法を考えた後、グループで話し合い一つの方法にまとめていきます。合意形成の実際を体験してもらい、気づいたことを全体で共有してもらいます。

※大別すると、上記のような三種類の活動があります。詳細については、職員にご相談ください。